

東伏見駅周辺の現況・課題、対応案・要望（懇談会でのご意見）を踏まえた今後の取り組み【駅周辺編】

現状・課題（懇談会ご意見を整理）

対応案・要望（懇談会ご意見を整理）

まちづくりにおける今後の取り組み（例）

● 子育て環境が整っていない、商店が少ない等の理由により、人口が少ない。

● 商店や公共施設が充実しておらず、イベント時しか人が集まらない。（生鮮食品店、服屋、子供用品店、大きい公園等）

● 近隣型商業地区が少ない。

● 店舗・生活利便施設が少なく、他の地域に人が流れている。（大きいスーパー、飲食店等）

● 鳥居から東伏見稻荷神社までの商業地の密度が特に低い。  
● 駅南側は生活に必要な商店がない。

● 北口は、南口よりもにぎわいが少ない。

● 新しい店舗を出す魅力がない。

● 鉄道による南北分断の不便さは感じないが、単一の商店会で南北が一体化しているにもかかわらず人の流れが十分でない。

● 保育園や児童館を整備する。（空き店舗の活用）

● 老若男女が集まれる商業施設や公共施設を整備する。

● 近隣型商業地区を広げる。

● 駅周辺で生活用品が揃うと生活しやすく、にぎわいが高まる。

● 連続立体事業に合わせて、シンボル性のある駅舎の整備やロータリーの活用を図れるとよい。  
● 駅に直結した商業施設があるとよい。

● 東伏見駅の構内、駅周辺、高架下を利活用できるとよい。（憩いの場、道の駅、広場、イベント広場、駐車場）

● 地域の特色を出し、市外から人を呼び込む。（桜並木の整備、イルミネーションの範囲の拡大、モニュメントの設置、シンボル性のある駅舎のデザインにする、高架の脚を鳥居の形にする。）

● 鉄道用地や駅周辺等において、近隣居住者の日常生活利便性向上のための施設等（スーパー、飲食店、衣料品店など）を集積  
● 子育て世代の居住を促進するため、保育園や児童館などの子育て支援施設の整備検討  
● 地域のコミュニティを育む公共施設等の整備検討

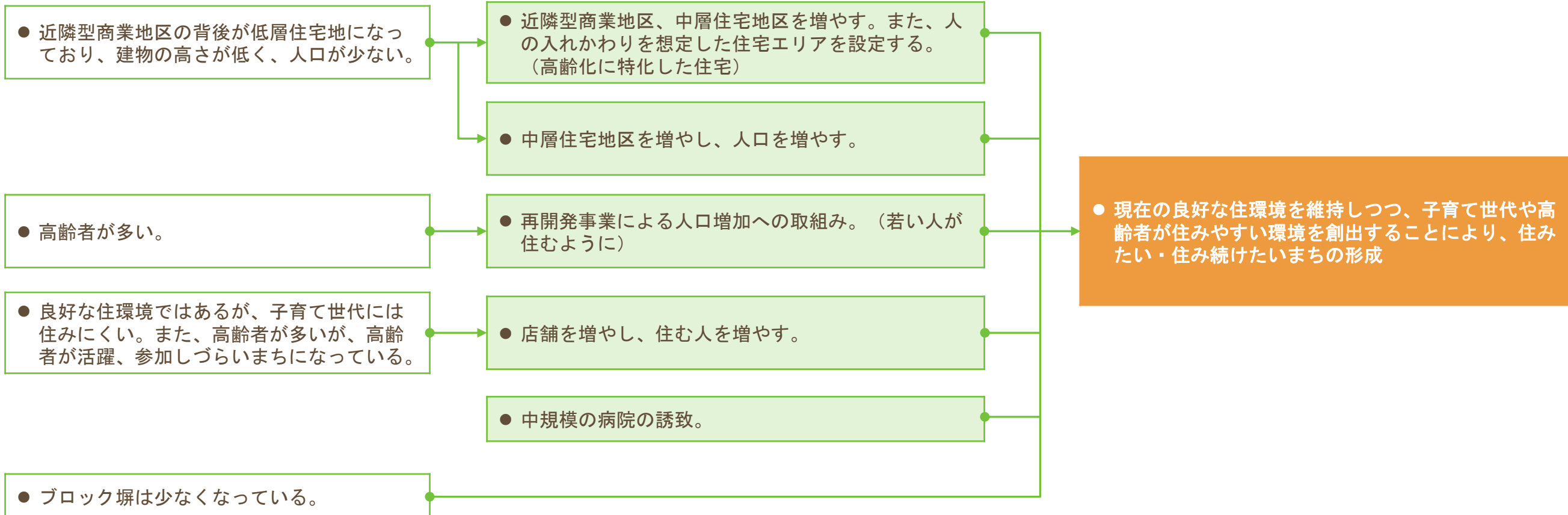
● 地域に相応しい個性ある駅舎等デザインの検討  
● 鉄道立体化を契機とした鉄道敷地や駅前広場の活用、商業施設の誘致検討  
● 駅前にふさわしい街並みの形成

● 鉄道立体化を契機に、地域の特色（歴史・みどり・新たな特色など）を活かしたにぎわい・魅力の創出

現状・課題（懇談会ご意見を整理）

対応案・要望（懇談会ご意見を整理）

まちづくりにおける今後の取り組み（例）



現状・課題（懇談会ご意見を整理）

- 東伏見公園に駐車場がない。
- 下野谷遺跡をまちづくりに活用できていない。（鍵の受け渡し等で公園利用がしづらい）
- 東伏見公園ができるまでは、子供が遊べる場所がなかった。
- 早稲田大学総合グラウンドを運動場としているが、普段は入ることが出来ない。
- 昔は桜があったが、手入れの問題や電線の問題で切られてしまった。
- 石神井川の水量が多い時と少ない時がある。
- 東伏見線はイチョウ並木など、みどりは十分にあると感じる。
- みどり、水辺等の景観は十分にある。（白鷺、カモがいる。）
- 石神井川沿いは朝・夕に歩行者が多い。  
● 下野谷遺跡付近は、崖や階段が危険である。
- 東伏見駅から東伏見稲荷神社までの通りは参道のイメージが弱い。
- 駅北側で野菜を販売している。
- 駅南側は畑が少ない。
- みどりが多いと、見通しが悪くなる、身を潜める場所ができる等により、犯罪が増えるという話を聞いた。

対応案・要望（懇談会ご意見を整理）

- 地域資源を活用したまちづくり。（駅に下野谷遺跡の案内を配置する等）
- 駅前に地域資源の地図を設置し、まちの明るいイメージをPRする。
- 駅から東伏見公園、武蔵関公園、下野谷遺跡公園までの動線の整備と商業の活性化。（案内板、指示版）。
- イチョウ並木を活かす。
- 早稲田大学の馬術部の馬と交流できるとよい。
- 地域の特長を活かしたまちづくり。
- 石神井川周辺の整備が必要（武蔵関公園との連続性、遊歩道を桜並木にして、休息できるような長イスを設置する等）
- 武蔵関公園から東伏見公園までを桜並木で繋がるとよい。また、落葉樹の手入れを行政でやってほしい。
- 水が少ない時にも水辺の雰囲気を出せる工夫をしてほしい。また、におい対策も行ってほしい。
- 下野谷遺跡の整備を早急に進めてほしい。
- 下野谷遺跡公園への階段を拡幅してほしい。
- 下野谷遺跡に観光バスが止まれる駐車場が必要。
- 農地は大事にしたい。
- 商業とみどりのバランスが大事である。

まちづくりにおける今後の取り組み（例）

- 地域資源（下野谷遺跡公園、東伏見稲荷神社、早稲田大学東伏見キャンパス総合グラウンド、東伏見公園、石神井川、イチョウ並木、武蔵関公園等）を活用した観光・交流の促進
- 観光・交流促進に資する施設整備の検討（施設案内、経路案内等）
- 地域内の特色のあるさまざまなみどり（下野谷遺跡公園、東伏見稲荷神社、早稲田大学東伏見キャンパス総合グラウンド、東伏見公園、石神井川、イチョウ並木、武蔵関公園等）を保全・活用して、美しい景観とみどりと水のネットワークの形成
- 地域内に散在する農地の保全と活用

現状・課題（懇談会ご意見を整理）

対応案・要望（懇談会ご意見を整理）

まちづくりにおける今後の取り組み（例）

- 踏切が時間帯によって長時間開かない。

- 駅西の踏切では朝の時間帯（7：45～8：15）は交通整理をしているが、その後は車が多く通行する。（特に夕方）
- また、道路幅員が狭く、車同士のすれ違いができない。
- イトマンスポーツクラブ東伏見の迎え待ちの車、ふしみだんごの車待ちが多い。

- スムーズに通行したい。

- 高架化による渋滞の緩和を期待する。

- 歩行者や自転車のみでもよいので、高架下を通れるようにしてほしい。

- 西武新宿線の鉄道立体化の促進
- 鉄道立体化にともなう南北通路の整備検討

- 駅からの下野谷遺跡への道は、坂道で歩道がないため危ない。

- 東伏見線は事故に会いそうで危ない。（園児）

- 東伏見線は歩道が狭く、雨の日は傘同士がぶつかる。カーブも坂も急で危ない。（自転車や車いすでは登れない）

- 早期整備してほしい。（拡幅整備、横断歩道の設置、バスが入れるように）

- 早く整備してほしい。全面開通に時間がかかるなら、雨の日の対策、カーブの解消だけでも行ってほしい。
- 下野谷遺跡と合わせて整備してほしい。（バスが止まれるように）

- 西3・4・17（東伏見線）の整備（現道の安全対策）

- バスの本数が少なく、他地区と人が交流しづらい。

- バスの本数を多くしてほしい。
- 急行を止めてほしい。

- バスやタクシーが入れるようなロータリーが整備されるとよい。

- 公共交通のネットワークを強化してほしい。（中央線・新宿線・池袋線）

- 鉄道立体化を契機とした駅前広場の再整備検討
- バス路線・鉄道の新設・充実・再編の必要性や運行可能性に関する検討・協議

- バスが入るにはロータリーが狭い。

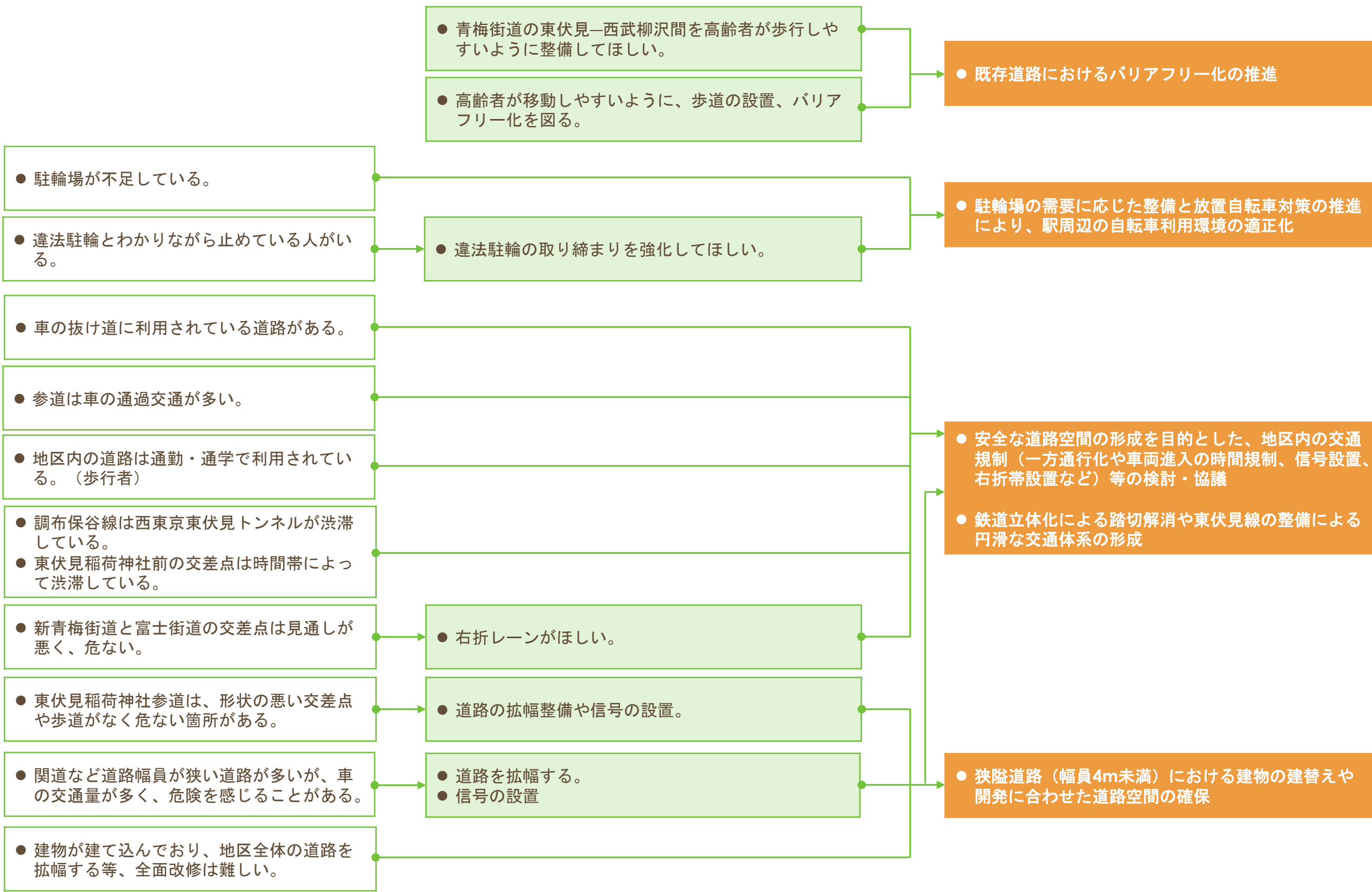
- タクシーやバスが増えないと人が増えない。

- 広いロータリーを作してほしい。

現状・課題（懇談会ご意見を整理）

対応案・要望（懇談会ご意見を整理）

まちづくりにおける今後の取り組み（例）



現状・課題（懇談会ご意見を整理）

対応案・要望（懇談会ご意見を整理）

まちづくりにおける今後の取り組み（例）

● 駅南側は夜間は暗くて危ない。また、道路の見通しが悪い箇所や渡りづらい横断歩道、坂道がある。

● 街路灯や信号を設置してほしい。

● 街路灯が少なく、駅中心から少し離れると特に暗い道が多い。

● 街路灯や防犯カメラを増やして安全性を高める。（特に駅周辺、通学路）

● 地区全体として街路灯があるとよい。

● 石神井川は街路灯がなく、夜間は怖い。

● 夜間に公園がたまり場にならない対策をして欲しい。（安全性）

● 駅南側は青梅街道まで行くのに、暗い箇所があり、迂回している。

● 石神井川は崖崩れ等の対策を至急行って欲しい。

● 町内会・自治会がないため、防犯・防災等の意見交換をする場がない。

● 駅北側に避難場所がない。

● 暗がりにおける防犯対策（街路灯・防犯カメラ等の設置）や、交通安全施設（信号、横断歩道等）の設置検討

● 石神井川の崖崩れ対策の実施

● 地域ぐるみの防犯・防災等の検討・推進

● 避難場所・避難経路の周知徹底  
● 鉄道立体化に伴う避難経路の拡充検討